
カピバラさんと踊ろう

ひなだんご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カピバラさんと踊ろう

【Nコード】

N4580I

【作者名】

ひなだんご

【あらすじ】

とある都会の突拍子のないお話。

田舎でもないのに、そこには謎の美少女が連れて（拉致？）きた可愛いカピバラさんの群れが・・・

アイラブかぴばら

4月。

今日は始業式。ぼかぼか陽気の気持ちいい朝の中、生あくびをしながらいつも通りの通学路の坂道をいつも通り一人歩いていた。

「ふあゝあ。」

今日は午前中までで学校は終わりだし、帰りは昼飯にマックによってゲーセン寄るか。

そんなことを考えながら校門を抜けた時、けたたましい声がオレの眠れる脳細胞を揺らした。

「なんだなんだあゝ」

隣を歩いていた男子生徒達がびつくりした声をあげている。

朝っぱらから元気な声だなあ。オレも少しは見習わないとな・・・って、何故かオレの目の前には自分の目を疑いたくなるような、世界最大種のげっ歯類が100、いや200くらい放置されてる姿がいよいよ、確かに日本にも長崎のバイオパークをはじめ、全国の動物園でその愛らしい姿を鑑賞することはできるが、何故に超都会のど真ん中の高校にやつらは放し飼いにされているのだ？いやいや待って待って、これは地球外生命体の策略か、それとも全国のゲームセンター協会（？）の宣伝か？

「ちよつと、痛いわね！離しなさいよ！！」

男性教師に耳をひっぱられ、女の子が叫んでいた。

「またお前か、一年こ組今泉遥。何度言ったらわかるんだ」

「でも、先生。見てください！この愛らしい姿をつ。あなたたちはこの子たちを見て何とも思わないのっ！私はこのぶりつとした足にウリウリしている姿に心を奪われたの！分かるっ！？分かった人は拳手！！ほらっ、そのあなた。」

指先はオレの方を指していた。何故か、オレ以外の全員がザザーッと滝でも割ったかのように遠ざかる。

オイオイ、なぜ一回引き下がるんだ・・・オレだけ出遅れてしまっただではないか。

「いっつ・・・!」

オレは今泉にネクタイを引っ張られ、なぜか全員が困ってるであろう円の中心に引きづられていった。

「痛いんですけど、今泉さん。」

「あら、あなた私のこと知ってたんだ」

当たり前だ、あんなに毎回騒ぎを起こしてるんだからオレだけじゃない、ここの学校の人間なら全員が知ってるし、なぜ今オレはここにいる？

「確かに、カピバラさんは愛苦しいくらいに可愛い。だかしここはどこだ？学校だ。動物園じゃないんだ、だからここじゃ飼えないんだ、言ってることわかるよな」

「じゃあ、カピちゃん用に飼育部屋を作るのよ」

「いやいやまてまて、200匹くらいいるんだぞ、お前それをどうやって、」

「決まってるじゃない。私がこのグラウンドや空き教室を使ってこの子たちを育てるのよ」

「一人でこれだけの数は流石に手が廻らんだろう」

「だれが一人でやっていったのよ、あなたも手伝うのよ」

あっけらかんと今泉は言う。

「あゝオレも飼育手伝うって、おいっ!」

「あゝ先にいつとくけど、あなたに拒否権はないから」

「・・・」

なんなんだ、この超展開は!?!しかも、なんで言い返せない???

今、オレ怒鳴ろうとしたのに。

「うんうん、結構結構。」

なにが結構だあゝ、オレはまだやってもいいなんて一言もいってないぞ。

「だまって聞いてたら今泉遙!」

ずっーとこっちを見て口をぽかんと開いてた教師がようやく怒鳴った。

「あゝ、先生ストップ。今からこのグラウンドと空き教室は私が占拠しましたから！」
んなむちやくちな。

「先生にも拒否権ありませんから。悪しからず、くすつ。くすつ。っじゃない！しかし、こいつの拒否権発動から、オレだけじゃない、さっきまで騒いでた奴らも気づいたら静まってるし……。」

「ふふふふふふ」

こいつは一体何者なんだ！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4580i/>

カピバラさんと踊ろう

2010年10月21日22時57分発行